



KPMGジャパン 主催

KPMG フォーラム 2019

持続的な成長に向けた
新時代の適応力

東京

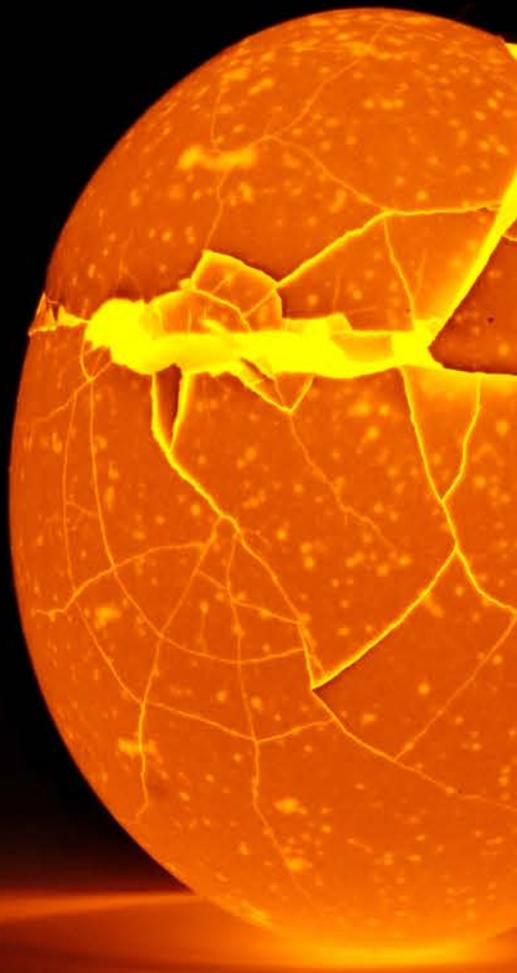
11/21(木)・22(金)
ベルサール東京日本橋

名古屋

12/3(火)
JRゲートタワー カンファレンス

大阪

12/9(月)
ハービスホール



はじめに

このたび「KPMGフォーラム2019 – 持続的な成長に向けた新時代の適応力」を東京(11月21日、22日)、名古屋(12月3日)、大阪(12月9日)において開催する運びとなりましたので謹んでご案内申し上げます。

米中の貿易摩擦を筆頭とした地政学的な緊張や環境・気候変動リスク等、不確実性の高まる状況下において、世界経済の見通しへ警戒感が強まりつつあります。一方、情報通信技術の急速な発展を背景に、あらゆる場面でデジタル変革が起こり、業界や地域問わずボーダーレス化が進んでいます。こうしたなか、企業は「生き残り」をかけ、自社のビジネスモデルを機動的に変革させ、持続的に企業価値を向上させなければなりません。

本フォーラムは、皆様の企業戦略策定の一助となるべく、各会場において外部有識者による付加価値の高い基調講演に加え、関心度の高いテーマに沿った最新情報を提供させていただくものです。東京会場初日は実務担当者向けに会計・財務を中心としたトピック、2日目はミドルマネジメント向けに経営トピックを多数ご用意しております。名古屋・大阪においても会計・税務の最新動向はもとより、グローバルな事業戦略、人材・組織マネジメント、M&A、ガバナンス構築、不正対応に加え、業種を超えたメガトレンド等、様々なテーマについて事例を交えたセッションを幅広くご提供いたします。いずれも、KPMGの監査、税務、アドバイザー各分野のプロフェッショナルが、それぞれの専門知識やスキル、ネットワークを活用しながら総力を結集した内容となっております。

令和元年という節目の年に、KPMGジャパンの中核である「あずさ監査法人」は創立50周年を迎えました。長らくご支援いただいた皆様に深く感謝するとともに、今後ともご期待に沿えるよう尽力いたします。

ご多忙の折りとはい存じますが是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。

KPMGジャパン CEO
有限責任 あずさ監査法人 理事長

高波 博之



Day 1

実務担当者向けトピック

Day 2

ミドルマネジメント向け

経営トピック

東京

11/21(木) 東京

Day 1 実務担当者向けトピック

	会計・財務	会計・財務×TECH	経営管理	M&A/年金
13:00 ↓ 13:50	1-1 P15 IASBの最近の活動状況 とIFRSを理解するための 基本的ポイントについて 概念フレームワークの 改訂にも触れて	1-2 P16 Society 5.0時代の 監査	1-3 P17 有価証券報告書における 開示の充実に向けた 取組み	1-4 P18 M&A会計の最新実務
	中央大学 山田 辰己 氏	あずさ監査法人 丸田 健太郎	金融庁 前田 和哉 氏	あずさ監査法人 伊巻 寛幸
14:10 ↓ 15:00	1-5 P15 ASBJによる日本基準 の開発の動向 新時代の開示は どうあるべきか	1-6 P16 デジタル変革を推進 するテクノロジー戦略	1-7 P17 KAM:早期適用に おける対応と強制適用 に向けた課題	1-8 P18 これだけは 押さえておこう! 財務経理PMIの実務 買収時に備えて実務担当者が 知るべきポイント
	企業会計基準委員会(ASBJ) 川西 安喜 氏	KPMGコンサルティング 岡部 隆一	あずさ監査法人 関口 智和	あずさ監査法人 伊藤 憲史
15:30 ↓ 16:20	1-9 P15 収益認識基準の適用上 の課題 先進事例から見てきた 主要論点と対策	1-10 P16 スマート・デジタル・ ファイナンス CFO領域におけるデジタル 活用の可能性とは	1-11 P17 2020年、取締役会は どう変わるのか グループガバナンス、 デジタル、リスクを中心に	1-12 P18 タックスハイブ ン 対策税制と海外M&A 海外投資の税務戦略とは
	あずさ監査法人 神山 清雄	あずさ監査法人 濱田 克己 あずさ監査法人 ダニエル ガンゲル	KPMGジャパンコーポレートガバナンス センター・オブ・エクセレンス 林 拓矢	KPMG税理士法人 三輪 聡也
16:40 ↓ 17:30	1-13 P15 キャッシュリターンを 意識した財務フレーム ワークの構築 ROIC経営の死角に対応する	1-14 P16 進化する管理会計 テクノロジーによる高度化	1-15 P17 TCFDと統合報告 気候変動リスク開示の 最新実務の概要	1-16 P18 年金・退職給付制度を めぐる最新動向と 戦略的対応 ガバナンスコードや 働き方改革等への対応
	あずさ監査法人 土屋 大輔	あずさ監査法人 程原 真幾	KPMGジャパンコーポレートガバナンス センター・オブ・エクセレンス 加藤 俊治 KPMGジャパン 統合報告 センター・オブ・エクセレンス 齋尾 浩一郎	あずさ監査法人 枇杷 高志

基調講演 東京2日目

経営者としての挑戦と学びの共有

11/22(金)
10:10 ~ 11:45

ビジネス環境の変化が激しくなっている現在、組織を成功に導くには強いリーダーシップが必要です。幸運にも、私はこれまで、ユニクロ、ローソン、リヴァンプ、デジタルハーツ等、大企業、スタートアップ、急成長オーナー企業等、様々な企業で経営、リーダーシップポジションの経験を積むことができました。本講演では、その経験と学びを、体験談やエピソードとともに振り返り、ビジネスに重要なエッセンスをお話させていただきたいと思います。



たまつか げんいち
玉塚 元一 氏

株式会社デジタルハーツホールディングス
代表取締役社長CEO

1985年、慶應義塾大学卒業後、旭硝子株式会社(現AGC株式会社)入社。工場勤務、海外駐在を経て、日本IBMに転職。1998年、株式会社ファーストリテイリングに入社、2002年に同社代表取締役社長 兼 COOに就任。2005年9月に企業再生・事業の成長を手掛ける企業、株式会社リヴァンプを創業し、代表取締役に就任。その後2010年11月、株式会社ローソンに入社。同社取締役代表執行役員COOを経て、2014年5月より代表取締役社長、2016年6月に代表取締役会長CEO。2017年6月、デジタル製品のテストおよびQAを行う株式会社デジタルハーツホールディングス代表取締役社長CEOに就任。現在に至る。
ヤマハ発動機株式会社、ラクスル株式会社、トランスコスモス株式会社の社外取締役も務める。

11/22(金) 東京

Day 2 ミドルマネジメント向け 経営トピック

	TECH×経営	革新×経営	地政学×経営	新成長戦略
10:00	ご挨拶			
10:10	基調講演 P6			
11:45	経営者としての挑戦と学びの共有			 玉塚 元一 氏 株式会社デジタルハーツホールディングス 代表取締役社長CEO
Q&A Session				
13:00	2-1 P19	2-2 P20	2-3 P21	2-4 P22
13:50	妄想駆動型組織がDXをリードする 経営課題を解決するデジタルトランスフォーメーションの実現 KPMG Ignition Tokyo 茶谷 公之	5G通信インフラが引き起こす産業革命と経営戦略 これからのビジネスは、“掛け算”で考える KPMG FAS 井口 耕一	英国EU離脱(Brexit)の影響と対応 あずさ監査法人 三浦 洋	日本のCFOの担うべき役割と課題 CFOサーベイ2019の結果を受けて あずさ監査法人 吉野 征宏
14:10	2-5 P19	2-6 P20	2-7 P21	2-8 P22
15:00	RPAの次に来るもの Intelligent Automation KPMGコンサルティング 福島 豊亮	実装が始まる日本のMaaS・スマートシティ KPMGモビリティ研究所 アドバイザー 石田 東生 氏 KPMGモビリティ研究所 池田 晴彦	中国事業再点検 KPMG 中国 高部 一郎 KPMG 中国 米田 有	新しい成長を創造するためのM&A戦略 既成概念を越えて自己変革に挑戦する KPMG FAS 石井 利明 KPMG FAS 加藤 雅也
15:30	2-9 P19	2-10 P20	2-11 P21	2-12 P22
16:20	RegTechの最新動向 ディストラクションにどう向き合うべきか あずさ監査法人 山崎 千春	実用期を迎えるBlockchain Blockchainは何を変えるのか KPMGジャパン フィンテック・イノベーション部 東海林 正賢	取締役会・監査委員会が抱える重要課題(2019年版) 米国事業のガバナンスを向上させるための論点 KPMG 米国 森 和孝	大企業×スタートアップ オープンイノベーションを成功に導くためのポイント あずさ監査法人 坂井 知倫
16:40	2-13 P19	2-14 P20	2-15 P21	2-16 P22
17:30	デジタル変革時代のデータ流通とリスクマネジメント KPMGコンサルティング 熊谷 堅	人事部門の未来: 先駆者かそれとも傍観者か Future of HRからの示唆 KPMGコンサルティング 大池 一弥	地政学的リスクと関税ガバナンス データ分析の活用と事例紹介 KPMG税理士法人 梅辻 雅春 KPMG税理士法人 神津 隆幸	不正調査、危機管理へのデジタルテクノロジー活用 その課題と可能性 KPMG FAS 堀田 知行

基調講演 名古屋

夢みる力が「気」をつくる

12/3(火)
10:10 ~ 11:45

JR九州の歴史は逆境から立ち上がってきた歴史ともいえます。国鉄分割民営化後、当社は厳しい経営環境や度重なる自然災害など数多くの困難を乗り越え会社も社員も強くなってきました。原動力のひとつは、夢みる力が生み出す「気」であると考えます。「気」は、価値を創造し感動のエネルギーへと変化します。乗車されるお客さまのみならず、沿線の皆さまの心までも動かす「ななつ星in九州」は好例です。

本講演では、新たな事業への挑戦、様々なプロジェクト完遂までのエピソードを交えながら、私の信じる「気」についてお話をさせていただき、人を動かし組織や地域を活性化させるためにはどうすべきか皆さまと考えていきたいと思っております。

名古屋



からいけ こうじ

唐池 恒二 氏

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役会長

1953年4月2日大阪府生まれ。1977年京都大学法学部を卒業後、日本国有鉄道に入社。1987年国鉄分割民営化に伴い、九州旅客鉄道(JR九州)に入社。「ゆふいの森」や「あそBOY」等のD&S(デザイン&ストーリー)列車の運行をはじめ、博多～韓国・釜山間の高速船「ビートル」の就航に尽力。その後、毎年大幅な赤字を計上していた外食事業を黒字化し、子会社化したJR九州フードサービスの社長に就任。2002年には、炭焼創菜(そうさい)料理店、「赤坂うまや」の東京進出を果たす。2009年6月JR九州の社長に就任後、2011年に九州新幹線全線開業、国内最大級の商業駅ビル「JR博多シティ」開業と、2大プロジェクトも成し遂げた。九州を基盤に魅力あるまちづくりを目指す中で、外食事業の海外進出や農業などの新たな事業分野へも果敢に挑んできた。2013年10月に運行を開始したクルーズトレイン「ななつ星in九州」は、その企画から運行まで自ら陣頭指揮を執った。2014年6月、JR九州会長に就任。

- 会計・財務
- 会計・財務×TECH
- 経営管理
- TECH×経営
- 革新×経営
- 地政学×経営
- 新成長戦略

10:00	ご挨拶			
10:10	基調講演 P9			
11:45	夢みる力が「気」をつくる			唐池 恒二 氏 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
Q&A Session				
13:00	13:50	13:50	13:50	13:50
3-1 P23	3-2 P19	3-3 P16	3-4 P22	
IFRS基準および日本基準の開発の動向 企業会計基準委員会 (ASBJ) 川西 安喜 氏	妄想駆動型組織がDXをリードする 経営課題を解決するデジタルトランスフォーメーションの実現 KPMG Ignition Tokyo 茶谷 公之	Society 5.0時代の監査 あずさ監査法人 丸田 健太郎	日本のCFOの担うべき役割と課題 CFOサーベイ2019の結果を受けて あずさ監査法人 吉野 征宏	
14:00	14:50	14:50	14:50	14:50
3-5 P17	3-6 P19	3-7 P17	3-8 P20	
TCFDと統合報告 気候変動リスク開示の最新実務の概要 KPMGジャパン コーポレートガバナンスセンター・オブ・エクセレンス 加藤 俊治 KPMGジャパン 統合報告センター・オブ・エクセレンス 齋尾 浩一朗	RPAの次に来るもの Intelligent Automation KPMGコンサルティング 福島 豊亮	2020年、取締役会はどう変わるのか グループガバナンス、デジタル、リスクを中心に KPMGジャパン コーポレートガバナンスセンター・オブ・エクセレンス 林 拓矢	実装が始まる日本のMaaS・スマートシティ KPMGモビリティ研究所 アドバイザー 石田 東生 氏 KPMGモビリティ研究所 池田 晴彦	
15:00	15:50	15:50	15:50	15:50
3-9 P17	3-10 P16	3-11 P23	3-12 P22	
KAM:早期適用における対応と強制適用に向けた課題 あずさ監査法人 関口 智和	デジタル変革を推進するテクノロジー戦略 KPMGコンサルティング 岡部 隆一	ポストBEPS時代の移転価格リスク管理の実践 KPMG税理士法人 川井 健司 KPMG税理士法人 藤原 拓哉	新しい成長を創造するためのM&A戦略 既成概念を越えて自己変革に挑戦する KPMG FAS 石井 利明 KPMG FAS 加藤 雅也	
16:00	16:50	16:50	16:50	16:50
3-13 P15	3-14 P20	3-15 P21	3-16 P22	
キャッシュリターンを意識した財務フレームワークの構築 ROIC経営の死角に対応する あずさ監査法人 土屋 大輔	人事部門の未来: 先駆者かそれとも傍観者か Future of HRからの示唆 KPMGコンサルティング 大池 一弥	地政学的リスクと関税ガバナンス データ分析の活用と事例紹介 KPMG税理士法人 梅辻 雅春 KPMG税理士法人 古賀 弘樹	不正調査、危機管理へのデジタルテクノロジー活用 その課題と可能性 KPMG FAS 堀田 知行	

大阪

基調講演 大阪

日本が立ち向かう 中長期の地政学リスク

12/9(月)
10:10 ~ 11:45

日本を取り巻く地政学的なリスクは大きく変化しています。今までのグローバリズムの進展が変調し、各国がナショナリズムへとシフトしつつあります。国際社会においては政治的主導権の争いが経済にも波及し、貿易戦争や技術革新の主導権を握る争いが企業活動に影響を与えています。国際社会におけるパワーバランスの不安定さは、日本企業にも複雑かつ多大な影響を与えています。こうしたなか、日本企業はどのように対応していけばよいのでしょうか。本講演では、「日本が立ち向かう中長期の地政学リスク」と題し、日本企業が今後のグローバル事業展開を考察するうえで有益な最新情報を提供させていただき予定です。



おかもと ゆきお
岡本 行夫 氏

MIT国際研究センター
シニアフェロー

1968年外務省入省。1991年退官、同年岡本アソシエイツ設立。橋本内閣、小泉内閣と2度にわたり首相補佐官を務める。外務省と首相官邸で湾岸戦争、沖縄問題、イラク復興、日米安全保障、経済案件等を担当。シリコンバレーでのベンチャーキャピタル運営にも携わる。2011年の東北大震災後に「東北漁業再開支援基金・希望の烽火」を設立して東北漁業の早期回復を支援活動。MIT国際研究センターシニアフェロー。立命館大学客員教授。東北大学特任教授。青山学院大学特別招聘教授。国際問題について政府関係機関、企業への助言活動のほか、国際情勢を分析、執筆・講演・メディアなどで幅広く活動。著書は首相補佐官当時の回想録『砂漠の戦争〜イラクを駆け抜けた友、奥克彦へ』（文藝春秋社）など多数。

12/9(月) 大阪

- 会計・財務
- 会計・財務×TECH
- 経営管理
- TECH×経営
- 革新×経営
- 地政学×経営
- 新成長戦略

10:00	ご挨拶			
10:10	基調講演 P12			
11:45	日本が立ち向かう 中長期の地政学リスク		 岡本 行夫 氏 MIT国際研究センター シニアフェロー	
Q&A Session				
13:00	4-1 P15	4-2 P17	4-3 P19	4-4 P22
13:50	IASBの最近の活動状況 とIFRSを理解するための 基本的ポイントについて 概念フレームワークの 改訂にも触れて 中央大学 山田 辰己 氏	2020年、取締役会は どう変わるのか グループガバナンス、 デジタル、リスクを中心に KPMGジャパン コーポレートガバナンス センター・オブ・エクセレンス 林 拓矢	妄想駆動型組織が DXをリードする 経営課題を解決するデジタル トランスフォーメーションの実現 KPMG Ignition Tokyo 茶谷 公之	日本のCFOの担うべき 役割と課題 CFOサーベイ2019の 結果を受けて あずさ監査法人 公江 祐輔
14:00	4-5 P15	4-6 P23	4-7 P16	4-8 P16
14:50	ASBJによる日本基準 の開発の動向 新時代の開示は どうあるべきか 企業会計基準委員会(ASBJ) 川西 安喜 氏	大きく変わる 有価証券報告書 情報開示の本質を知り、 企業価値向上につなげる KPMGジャパン 統合報告 センター・オブ・エクセレンス 大槻 櫻子	デジタル変革を推進 するテクノロジー戦略 KPMGコンサルティング 岡部 隆一	進化する管理会計 テクノロジーによる高度化 あずさ監査法人 阿部 哲治
15:00	4-9 P15	4-10 P22	4-11 P16	4-12 P21
15:50	収益認識基準の適用上 の課題 先進事例から見てきた 主要論点と対策 あずさ監査法人 南原 亨成	新しい成長を創造する ためのM&A戦略 既成概念を越えて自己変革 に挑戦する KPMG FAS 石井 利明 KPMG FAS 加藤 雅也	スマート・デジタル・ ファイナンス CFO領域におけるデジタル 活用の可能性とは あずさ監査法人 松城 徳昌	英国EU離脱(Brexit) の影響と対応 あずさ監査法人 三浦 洋
16:00	4-13 P15	4-14 P23	4-15 P16	4-16 P20
16:50	キャッシュリターンを 意識した財務フレーム ワークの構築 ROIC経営の死角に対応する あずさ監査法人 土屋 大輔	ポストBEPS時代の移転 価格リスク管理の実践 KPMG税理士法人 水野 正夫 KPMG税理士法人 藤原 拓哉	Society 5.0時代の 監査 あずさ監査法人 丸田 健太郎	人事部門の未来: 先駆者かそれとも傍観者か Future of HRからの示唆 KPMGコンサルティング 大池 一弥

セッションのご紹介

IASBの最近の活動状況とIFRSを理解するための基本的ポイントについて

概念フレームワークの改訂にも触れて

中央大学
特任教授 山田 辰己 氏 (公認会計士)

- 1-1 東京 …………… 11/21(木) 13:00 ~ 13:50
- 4-1 大阪 …………… 12/9 (月) 13:00 ~ 13:50

大型プロジェクトの多くが終了し、IASBは、現行基準の維持管理プロジェクトは実務記述書(経営者による説明)の改訂などに取り組んでいます。本セッションでは、これらについて解説を行います。また、2018年3月に概念フレームワークが改訂され、多くの改訂が行われたが、それらの中から、資産及び負債の定義の改訂及び認識規準の改訂を取り上げて解説を行います。さらに、IFRSを理解するための主要ポイントについて解説を行います。

ASBJによる日本基準の開発の動向

新時代の開示はどうあるべきか

企業会計基準委員会(ASBJ)
副委員長 川西 安喜 氏 (公認会計士)

- 1-5 東京 …………… 11/21(木) 14:10 ~ 15:00
- 4-5 大阪 …………… 12/9 (月) 14:00 ~ 14:50

企業会計基準委員会(ASBJ)は、我が国の資本市場で用いられる会計基準の1つである日本基準が高品質で国際的に整合性のあるものとなるよう、日本基準の開発を行っています。本セッションでは、開示に関連する取組みを中心に、ASBJによる日本基準の開発の動向および考えられる実務への影響を解説します。

収益認識基準の適用上の課題

先進事例から見えてきた主要論点と対策

あずさ監査法人
東京 | ディレクター 神山 清雄 (公認会計士)
大阪 | パートナー 南原 亨成 (公認会計士)

- 1-9 東京 …………… 11/21(木) 15:30 ~ 16:20
- 4-9 大阪 …………… 12/9(月) 15:00 ~ 15:50

2018年3月30日に公表された「収益認識に関する会計基準」の適用時期が迫るなか、実務上判断が難しい論点について、対応方法への関心が高まっています。本セッションでは、基準を適用するにあたり、特に判断に悩む論点について事例を踏まえて解説します。また、これから適用準備を開始される会社向けに、適用スケジュールについても紹介します。

キャッシュリターンを意識した財務フレームワークの構築

ROIC経営の死角に対応する

あずさ監査法人
ディレクター 土屋 大輔

- 1-13 東京 …………… 11/21(木) 16:40 ~ 17:30
- 3-13 名古屋 ……… 12/3(火) 16:00 ~ 16:50
- 4-13 大阪 …………… 12/9(月) 16:00 ~ 16:50

ROICを導入したものの企業価値向上は道半ばという企業が多いのが実態です。その要因の1つとして、会計上の利益に重きを置くROICはキャッシュリターンへの意識が欠落しやすいという問題点があります。ROIC経営の死角に対応し、その導入効果を発揮するためには財務フレームワークの構築が不可欠です。本セッションでは、その概要とアプローチ方法について解説します。

Society 5.0時代の監査

あずさ監査法人
パートナー 丸田 健太郎 (公認会計士)

- 1-2 東京 …………… 11/21(木) 13:00 ~ 13:50
- 3-3 名古屋 ………… 12/3(火) 13:00 ~ 13:50
- 4-15 大阪 …………… 12/9(月) 16:00 ~ 16:50

Society 5.0が提唱され、企業活動が拡大しテクノロジーが進化していくなかで、テクノロジーをより一層活用した高品質な監査に対する社会の期待が高まっています。

本セッションでは、社会や企業活動がデジタル化するなかで求められる監査の将来像、統計・AI等先端テクノロジーを利用した具体的なソリューション事例やその先に対するあずさ監査法人の取組みについて解説します。

デジタル変革を推進するテクノロジー戦略

KPMGコンサルティング
パートナー 岡部 隆一

- 1-6 東京 …………… 11/21(木) 14:10 ~ 15:00
- 3-10 名古屋 ………… 12/3(火) 15:00 ~ 15:50
- 4-7 大阪 …………… 12/9(月) 14:00 ~ 14:50

デジタル変革の推進には新たなテクノロジーに対応する人材の確保・育成と、既存システムに必要なリソース負担低減を目指した全社のテクノロジー戦略が重要となります。

本セッションでは、最近、大きな議論を呼んでいる経済産業省のDXレポート「2025年の崖」への対応を含め、企業におけるデジタル変革の効果的な進め方のポイントについて解説します。

スマート・デジタル・ファイナンス CFO領域におけるデジタル活用の可能性とは

あずさ監査法人
東京 | パートナー 濱田 克己
ディレクター ダニエル ガンゲル
大阪 | ディレクター 松城 徳昌 (公認会計士)

- 1-10 東京 …………… 11/21(木) 15:30 ~ 16:20
- 4-11 大阪 …………… 12/9(月) 15:00 ~ 15:50

加速するデジタル化の時代において、財務経理部門にとって最新テクノロジーの活用が不可避となります。しかしその取組みについてはなかなか追いついていない現状があります。

本セッションでは、最前線のトレンドを紹介しながら、財務経理部門におけるテクノロジー活用の可能性について考察します。

進化する管理会計

テクノロジーによる高度化

あずさ監査法人
東京 | ディレクター 程原 真幾
大阪 | ディレクター 阿部 哲治 (公認会計士)

- 1-14 東京 …………… 11/21(木) 16:40 ~ 17:30
- 4-8 大阪 …………… 12/9(月) 14:00 ~ 14:50

ディスラプションの時代において、あらゆる将来リスクに備えて、CFO部門には経営層の迅速な意思決定を支援する情報提供が求められています。そのためにはテクノロジーを駆使し、シミュレーションを踏まえた予想・着地見込データを作成することがカギとなります。

本セッションでは進化した管理会計ツールの活用例と、CFO部門の現場に与える価値について紹介します。

有価証券報告書における開示の充実に向けた取組み

金融庁
企画市場局 企業開示課 開示業務室
専門官 前田 和哉 氏

- 1-3 東京 …………… 11/21(木) 13:00 ~ 13:50

コーポレートガバナンス改革の一環として、企業開示制度が改定されており、有価証券報告書における記述情報の開示の拡充が必要となっています。

こうした状況のなか、本セッションでは、記述情報の拡充に向けた取組みに関する制度趣旨や、今後の実務において事例を交え考慮すべき事項等について解説します。

KAM:早期適用における対応と強制適用に向けた課題

あずさ監査法人
パートナー 関口 智和 (公認会計士)

- 1-7 東京 …………… 11/21(木) 14:10 ~ 15:00
- 3-9 名古屋 ………… 12/3(火) 15:00 ~ 15:50

2020年3月期から「監査上の主要な検討事項(KAM)」の記載について早期適用が開始されるほか、2021年3月期から上場企業等の監査において強制適用がされます。本セッションでは、KAM記載の早期適用に向けて検討中の事例を踏まえ、強制適用に向けて監査人や企業が取り組むべき課題や必要な対応について解説します。

2020年、取締役会は どう変わるのか

グループガバナンス、デジタル、リスクを中心に

KPMGジャパン
コーポレートガバナンス センター・オブ・エクセレンス
パートナー 林 拓矢

- 1-11 東京 …………… 11/21(木) 15:30 ~ 16:20
- 3-7 名古屋 ………… 12/3(火) 14:00 ~ 14:50
- 4-2 大阪 …………… 12/9(月) 13:00 ~ 13:50

2020年、取締役会を取り巻く環境は大きく変わることが予想されます。特に、投資家の関心がグループガバナンス、デジタル対応、リスク情報の開示に向けられると考えられます。

本セッションでは、これらの環境変化に対応するために取締役会はどのように変わるべきなのか、そのために必要な取組みにはどのようなものがあるのか、事例を通じ解説します。

TCFDと統合報告

気候変動リスク開示の最新実務の概要

KPMGジャパン コーポレートガバナンス センター・オブ・エクセレンス
テクニカルディレクター 加藤 俊治 (公認会計士)
KPMGジャパン 統合報告 センター・オブ・エクセレンス
パートナー 齋尾 浩一郎 (公認会計士)

- 1-15 東京 …………… 11/21(木) 16:40 ~ 17:30
- 3-5 名古屋 ………… 12/3(火) 14:00 ~ 14:50

気候関連財務情報開示タスクフォース(以下、TCFD)への関心が高まってくるとともに、具体的な対応を検討している企業も増えてきています。

本セッションでは、TCFDの概要を解説するとともに、実務上の対応ならびに開示のあり方について、統合報告書や有価証券報告書での開示を念頭に考察します。

M&A会計の最新実務

M&Aにおけるのれんや無形資産の計上・償却や減損等の会計処理は財務諸表に大きな影響を与える可能性があります。一方でこれを規定するM&Aの会計基準は、日本基準とIFRS等で異なる点があり、また、日本基準に限っても、複数の基準にまたがりその理解は容易ではありません。

本セッションでは、最新実務に触れながら、M&Aの会計処理のポイントを解説します。

あずさ監査法人
パートナー 伊巻 寛幸 (公認会計士)

1-4 東京 …………… 11/21(木) 13:00 ~ 13:50

これだけは押さえておこう！ 財務経理PMIの実務

買収時に備えて実務担当者が知るべきポイント

財務経理PMIは、タスクが広範かつ短期間で解決すべき課題が膨大なため、財務経理担当者は日常業務に加え、多くの慣れない追加作業に追われることになります。本セッションでは、財務経理PMIの全体像、取るべき初動、Day1前に対応すべきタスク等、実務担当者が押さえておくべきポイントを事例も交えながら解説します。

あずさ監査法人
ディレクター 伊藤 憲史 (公認会計士)

1-8 東京 …………… 11/21(木) 14:10 ~ 15:00

タックスヘイブン対策税制と 海外M&A

海外投資の税務戦略とは

日本企業が海外投資する機会は増加しています。そのなかで、海外投資に影響を及ぼすタックスヘイブン対策税制が2017年に大きく改正され、いよいよ新税制の適用を受ける日本企業の申告が始まろうとしています。本セッションでは、海外投資を行う際に、タックスヘイブン対策税制によるオーバーインクルージョンを避けるために検討すべき項目を中心に、最新の税制改正の影響を踏まえて解説します。

KPMG税理士法人
パートナー 三輪 聡也 (税理士)

1-12 東京 …………… 11/21(木) 15:30 ~ 16:20

年金・退職給付制度をめぐる 最新動向と戦略的対応

ガバナンスコードや働き方改革等への対応

不安定な運用環境に加え、コーポレートガバナンス・コード改正によって、年金運用ガバナンスの高度化が求められています。また、人手不足や働き方改革に対応し、従業員ニーズに合致した年金・退職給付制度の設計・運営を行うことも必要です。

本セッションでは、これらを踏まえ、企業の退職給付制度運営・設計に関する戦略的対応について解説します。

あずさ監査法人
パートナー 枇杷 高志 (年金数理人)

1-16 東京 …………… 11/21(木) 16:40 ~ 17:30

妄想駆動型組織がDXをリードする

経営課題を解決する
デジタルトランスフォーメーションの実現

AIやIoT、ブロックチェーンなど、新しいテクノロジーが企業の経営環境を大きく変化させようとしているなか、企業は、今後はいかにデータを活用するかということが非常に重要になっています。

本セッションでは、DXを可能にする6つのテクノロジーについて、事例紹介も交えながら、解説します。

KPMG Ignition Tokyo
代表取締役社長 茶谷 公之

2-1 東京 …………… 11/22(金) 13:00 ~ 13:50
3-2 名古屋 …………… 12/3(火) 13:00 ~ 13:50
4-3 大阪 …………… 12/9(月) 13:00 ~ 13:50

RPAの次に来るもの Intelligent Automation

海外の先進企業はRPAや周辺技術を活用し、自動化の成果を得ています。一方、日本でもRPA導入に着手している企業が多いものの、戸惑い、立ち止まっているケースが少なくありません。

本セッションでは、海外成功例との対比を基に、大きな成果を得るために必要なIntelligent Automationの概念と実際について解説します。

KPMGコンサルティング
ディレクター 福島 豊亮

2-5 東京 …………… 11/22(金) 14:10 ~ 15:00
3-6 名古屋 …………… 12/3(火) 14:00 ~ 14:50

RegTechの最新動向

ディスラプションにどう向き合うべきか

企業の規制・コンプライアンス対応の一環としてRegTechの導入が本格化しています。

本セッションでは、RegTechと規制・コンプライアンス対応としてのシステム導入との本質的な違い、RegTech導入の意義や留意点について解説します。

あずさ監査法人
マネージング・ディレクター 山崎 千春

2-9 東京 …………… 11/22(金) 15:30 ~ 16:20

デジタル変革時代の データ流通とリスクマネジメント

近年は、デジタル化のステージも進行し、自動化されたプロセスやデータ流通は我々の想像を遥かに超え、説明責任が問われる段階に入っています。

本セッションでは、デジタル化を前提としたビジネスモデル構築とそのリスクマネジメントはどのようにあるべきか、時代を先読みし、今何をすべきか事例を交えて考察します。

KPMGコンサルティング
パートナー 熊谷 堅

2-13 東京 …………… 11/22(金) 16:40 ~ 17:30

5G通信インフラが引き起こす産業革命と経営戦略

これからのビジネスは、“掛け算”で考える

KPMG FAS
パートナー 井口 耕一

2-2 東京 …………… 11/22(金) 13:00 ~ 13:50

5Gの「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」は、これまでの当たり前を一気に過去のものにする可能性を秘めています。1Gから4Gへの移行によって経験した以上のインパクトを、社会やビジネスに与えるはずで、本セッションでは、この革命ともいえる社会インフラの刷新を見据え、考えるべき企業戦略の方向性についてその要諦を探ります。

実装が始まる日本のMaaS・スマートシティ

KPMGモビリティ研究所 アドバイザー
日本大学 特任教授
一般財団法人 日本みち研究所 理事長
石田 東生氏
KPMGモビリティ研究所
ディレクター 池田 晴彦

2-6 東京 …………… 11/22(金) 14:10 ~ 15:00
3-8 名古屋 …………… 12/3(火) 14:00 ~ 14:50

海外に比べ遅れていると言われてきた日本のモビリティ。しかしここへ来て、大手企業、スタートアップ企業、そして政府の動きが加速してきました。本セッションでは、急速に実装が進む日本のモビリティ・アズ・ア・サービス(MaaS)とスマートシティの最新動向を解説します。

実用期を迎えるBlockchain

Blockchainは何を変えるのか

KPMGジャパン
フィンテック・イノベーション部長
東海林 正賢

2-10 東京 …………… 11/22(金) 15:30 ~ 16:20

仮想通貨の基盤として登場したBlockchainはその特性を活かして、金融業に止まらず、製造や流通などさまざまな業界へと広がっています。しかし、PoC(概念実証)や実証実験から実業務へ移行した例はまだ多くはありません。本セッションでは、実業務での成功事例を基に、Blockchain活用を成功に導くための課題と要件を解説します。

人事部門の未来：先駆者かそれとも傍観者か

Future of HRからの示唆

KPMGコンサルティング
パートナー 大池 一弥

2-14 東京 …………… 11/22(金) 16:40 ~ 17:30
3-14 名古屋 …………… 12/3(火) 16:00 ~ 16:50
4-16 大阪 …………… 12/9(月) 16:00 ~ 16:50

デジタル経済へのシフトが進むなか、ビジネスを支える人事部門の変化も避けられません。KPMGが実施した人事部門に関するグローバル調査では、この変化に対するHRリーダーの相反する対応およびアプローチが明らかになりました。本セッションでは、従来の人事モデルや人事の役割をどう変化させるべきか、その方向性を事例も交えて解説します。

英国EU離脱(Brexit)の影響と対応

あずさ監査法人
パートナー 三浦 洋 (公認会計士)

2-3 東京 …………… 11/22(金) 13:00 ~ 13:50
4-12 大阪 …………… 12/9(月) 15:00 ~ 15:50

英国のEU離脱問題は、新政権のもとでも打開策がないままに10月末の離脱期限に近づきつつあり、(移行期間のない)「合意なき離脱」のリスクが高まっています。また、欧州各国においてもEUの求心力の低下が懸念されています。本セッションでは、日系企業はBrexitにいかに対処し、欧州市場戦略をどのように再構築すべきかにつき、欧州各国の歴史的背景を振り返り、今後の欧州の方向性と日本企業が取り得る選択について解説します。

中国事業再点検

KPMG 中国
パートナー 高部 一郎 (公認会計士)
KPMG 中国
ディレクター 米田 有

2-7 東京 …………… 11/22(金) 14:10 ~ 15:00

中国は想像を超える速度で変化しており、中国におけるビジネスプランや戦略もその変化の速度に対応した見直しが必要となっています。本セッションでは、中国における最新の事業環境の変化をクローズアップし、解説するとともに、中国での事例の紹介を交えて、自社の中国事業を再点検する機会を提供します。

取締役会・監査委員会が抱える重要課題(2019年版)

米国事業のガバナンスを向上させるための論点

KPMG 米国
パートナー 森 和孝 (公認会計士、勤許会計士)

2-11 東京 …………… 11/22(金) 15:30 ~ 16:20

貿易摩擦をはじめとする地政学上のリスク、デジタルイノベーションや環境問題など、企業運営に対する利害関係者の期待は高まっています。本セッションでは、多様化する企業が抱える課題について、米国における動向を紹介するとともに、取締役会や監査委員会がいかに対応し、ガバナンス向上に努めるべきかについて解説します。

地政学的リスクと関税ガバナンス

データ分析の活用と事例紹介

KPMG税理士法人
東京 | パートナー 梅辻 雅春 (税理士、公認会計士)
| パートナー 神津 隆幸 (税理士、米国公認会計士)
名古屋 | パートナー 梅辻 雅春 (税理士、公認会計士)
| シニアマネジャー 古賀 弘樹 (税理士)

2-15 東京 …………… 11/22(金) 16:40 ~ 17:30
3-15 名古屋 …………… 12/3(火) 16:00 ~ 16:50

地政学的リスクがもたらす不透明な経営環境に対応した関税・間接税ガバナンス構築のためには、データに基づいた客観的な現状分析が不可欠です。本セッションでは、サプライチェーンの見直しや、FTA/EPAネットワークの拡張等が企業グループに及ぼす影響を見きわめるために準備しておくべきデータについて解説するとともに、実際の活用例を紹介いたします。

日本のCFOの担うべき役割と課題

CFOサーベイ2019の結果を受けて

あずさ監査法人

東京 | パートナー 吉野 征宏 (公認会計士)
名古屋 | パートナー 公江 祐輔 (公認会計士)
大阪 | パートナー 公江 祐輔 (公認会計士)

- 2-4 東京 …………… 11/22(金) 13:00 ~ 13:50
- 3-4 名古屋 …………… 12/3(火) 13:00 ~ 13:50
- 4-4 大阪 …………… 12/9(月) 13:00 ~ 13:50

この度、KPMGでは国内160社のCFOを対象としたアンケートおよび20名のCFOへのインタビューを基にCFOサーベイ結果をまとめました。調査の結果、日本のCFOが抱えるジレンマや、テクノロジーの利用および人材育成の課題が浮き彫りになりました。本セッションでは、これらの内容を踏まえて、CFOに求められる役割について解説します。

新しい成長を創造するためのM&A戦略

既存概念を越えて自己変革に挑戦する

KPMG FAS
パートナー 石井 利明 (公認会計士)
KPMG FAS
顧問 加藤 雅也

- 2-8 東京 …………… 11/22(金) 14:10 ~ 15:00
- 3-12 名古屋 …………… 12/3(火) 15:00 ~ 15:50
- 4-10 大阪 …………… 12/9(月) 15:00 ~ 15:50

コア事業がコモディティ化し、新たな成長戦略を描けずにいる日本企業が増えています。M&Aに活路を求めても既存概念の枠内では成功確率は上がりません。本セッションでは、自己変革を起し、新しい成長軌道を創造することを目的にしたM&A戦略をいかに発想し、全体プロセスを設計するべきか、買収動機の形成からPMIまで急所と難所を解説します。

大企業×スタートアップ

オープンイノベーションを成功に導くためのポイント

あずさ監査法人
パートナー 坂井 知倫 (公認会計士)

- 2-12 東京 …………… 11/22(金) 15:30 ~ 16:20

多くの大企業がイノベーションを促進するため、スタートアップとの連携を強化しているなかで、期待した効果が得られないケースも散見されます。本セッションでは、大企業とスタートアップが革新的なテクノロジー等を通じたオープンイノベーションを成功に導くためのポイントについて解説します。

不正調査、危機管理へのデジタルテクノロジー活用

その課題と可能性

KPMG FAS
パートナー 堀田 知行

- 2-16 東京 …………… 11/22(金) 16:40 ~ 17:30
- 3-16 名古屋 …………… 12/3(火) 16:00 ~ 16:50

AIやビッグデータ解析など、新興テクノロジーは目覚ましい発展を遂げ、不正調査の分野での活用も期待される一方で、万能の技術はまだまだ存在しません。本セッションでは、各種テクノロジーが、企業による不正の調査、または危機管理などの分野においてどのような利活用が期待されるか、留意すべき課題と将来の可能性について考察します。

IFRS基準および日本基準の開発の動向

企業会計基準委員会(ASBJ)
副委員長 川西 安喜氏 (公認会計士)

- 3-1 名古屋 …………… 12/3(火) 13:00 ~ 13:50

IFRS基準を開発する国際会計基準審議会(IASB)においては基本財務諸表やのれんの償却をめぐる議論が活発になっており、日本基準を開発する企業会計基準委員会(ASBJ)においては開示をめぐる議論が活発になっています。本セッションでは、IFRS基準および日本基準の開発の動向について解説します。

ポストBEPS時代の移転価格リスク管理の実践

KPMG税理士法人

名古屋 | パートナー 川井 健司 (税理士)
シニアマネジャー 藤原 拓哉 (税理士)
大阪 | パートナー 水野 正夫 (税理士)
シニアマネジャー 藤原 拓哉 (税理士)

- 3-11 名古屋 …………… 12/3(火) 15:00 ~ 15:50
- 4-14 大阪 …………… 12/9(月) 16:00 ~ 16:50

多国籍企業のBEPS文書化の形式的対応が一巡しつつあるなか、課税強化の潮流のなかで移転価格リスクがさらに顕在化する将来が待ち受けています。本セッションでは、コンプライアンスとしての文書化とリスクの低減のためのプランニングの区別と関連について考察しつつ、移転価格プランニングと合理的な事業意思決定との調和をいかに図るべきか、企業がたびたび直面するケースを具体的に紹介しながら、対応上の要点を解説します。

大きく変わる有価証券報告書

情報開示の本質を知り、企業価値向上につなげる

KPMGジャパン 統合報告 センター・オブ・エクセレンス
パートナー 大槻 櫻子 (公認会計士)

- 4-6 大阪 …………… 12/9(月) 14:00 ~ 14:50

本年1月に金融庁から「企業内容の開示に関する内閣府令の改正」が公表され、経営戦略・経営方針、ビジネスモデルを含む記述情報の開示の拡充への対応が迫られています。本セッションでは、制度見直しの背景や統合報告など他の関連するトレンドなども踏まえて、当制度の要請にいかに対応すべきかについて解説します。

外部講師のご紹介



やまだ たつみ
山田 辰己 氏

中央大学 特任教授

公認会計士。中央大学特任教授。公認会計士・監査審査会委員。

住友商事株式会社で決算業務や海外駐在を経験。1995年から2001年まで国際会計基準委員会 (IASC) に日本代表として参加。2001年 国際会計基準審議会 (IASB) 初代理事に就任。10年間にわたり国際財務報告基準 (IFRS) の設定にあたる。2011年 有限責任 あずさ監査法人に入所。2014年 国際統合報告評議会 (IVSC) 評議員に就任。2018年 有限責任 あずさ監査法人を退職。2019年5月 株式会社乃村工藝社社外監査役に就任。著書は『論点で学ぶ国際財務報告基準 (IFRS)』(新世社)、『IFRSの本質』(税務経理協会)他多数。



かわにし やすのぶ
川西 安喜 氏

企業会計基準委員会 (ASBJ)
副委員長

公認会計士、米国公認会計士 (デラウェア州)、CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会認定アナリスト。東京大学経済学部卒業、ペンシルベニア大学ウォートン校経営管理学修士 (MBA)。1996年 朝日監査法人 (現・有限責任 あずさ監査法人) 入所。2003年より企業会計基準委員会 (ASBJ) 研究員、2004年より米国財務会計基準審議会 (FASB) 国際研究員、2013年より国際会計基準審議会 (IASB) 客員研究員をそれぞれ務め、FASBとIASBが共同で取り組んでいた収益認識、財務諸表の表示および概念フレームワークの各プロジェクトを担当。2016年より ASBJ 常勤委員。2019年より ASBJ 副委員長、会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 議長。



まえだ かずや
前田 和哉 氏

金融庁 企画市場局
企業開示課 開示業務室
専門官

大学卒業後、大手監査法人において、公認会計士として会計監査などの業務に従事。その後、2018年に金融庁に入庁。企画市場局企業開示課において、「記述情報の開示に関する原則」や「記述情報の開示の好事例集」の作成業務に携わる。



いしだ はるお
石田 東生 氏

KPMGモビリティ研究所 アドバイザー
日本大学 特任教授
一般財団法人 日本みち研究所 理事長

1974年 東京大学土木工学科卒業。東京工業大学土木工学科助手、筑波大社会学系助教授を経て、1996年より社会学域教授。2017年に定年退職し、現職。専門は交通政策、都市・国土計画。(一財) 日本みち研究所理事長、(一社) 日本モビリティマネジメント会議代表理事や国土交通省社会資本整備審議会・国土審議会委員。内閣府未来創生会議・新しいモビリティ産官協議会委員。経済産業省議会産業構造審議会臨時委員、国土交通省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」座長、経済産業省「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」座長などを務める。著書は『環境を考えたクルマ社会 (共著)』(技報堂)、『都市の未来 (共著)』(日本経済新聞社)他多数。

開催概要

開催日時	<table border="1"> <tr> <td>東京</td> <td>2019年11月21日(木) 13:00 ~ 17:30 22日(金) 10:00 ~ 17:30 ベルサール東京日本橋 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー B2階・4階</td> </tr> <tr> <td>名古屋</td> <td>2019年12月3日(火) 10:00 ~ 16:50 JRゲートタワー カンファレンス 〒450-6616 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー 16階</td> </tr> <tr> <td>大阪</td> <td>2019年12月9日(月) 10:00 ~ 16:50 ハービスホール 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2階</td> </tr> </table>	東京	2019年11月21日(木) 13:00 ~ 17:30 22日(金) 10:00 ~ 17:30 ベルサール東京日本橋 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー B2階・4階	名古屋	2019年12月3日(火) 10:00 ~ 16:50 JRゲートタワー カンファレンス 〒450-6616 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー 16階	大阪	2019年12月9日(月) 10:00 ~ 16:50 ハービスホール 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2階
東京	2019年11月21日(木) 13:00 ~ 17:30 22日(金) 10:00 ~ 17:30 ベルサール東京日本橋 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー B2階・4階						
名古屋	2019年12月3日(火) 10:00 ~ 16:50 JRゲートタワー カンファレンス 〒450-6616 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー 16階						
大阪	2019年12月9日(月) 10:00 ~ 16:50 ハービスホール 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2階						

受講料 | 無料(事前登録制)

受付開始日 | **2019年10月7日(月) 10:00より**
home.kpmg/jp/kpmgf-2019

申込方法

- ・申込受付はウェブサイトからのみとなっております。PCまたはスマートフォンよりお申込みいただけます。
- ・会員登録およびログインIDを取得のうえ、お申込みください。
- ・会員登録は受付開始日より前にお手続きが可能です。事前にご登録されることをお勧めします。
- ・受付開始日以降、ご関心のあるテーマをご自由にお選びいただき、セッションごとにお申込みください。
- ・お1人様による同日同時間帯の複数セッションのお申込みはご遠慮ください。
- ・セッションによって定員数が異なります。

※内容および講師等は都合により変更される場合がございます。
※自然災害等が発生した場合には、開催を延期または中止する場合がございます。

お問合せ先

KPMGフォーラム事務局(株式会社ウィズアス内)
TEL:03-6822-9229 (土・日・祝日を除く 平日10:00~18:00)
e-mail:kpmg-forum@withus-inc.co.jp

申込手順



▶ パソコン・スマートフォンから下記URLへアクセス
home.kpmg/jp/kpmgf-2019

▶ QRコードはこちら



STEP1 新規会員登録およびログインIDの取得

1つのIDで複数名のお申込みはできません。お申込者ごとにIDの取得をお願いします。

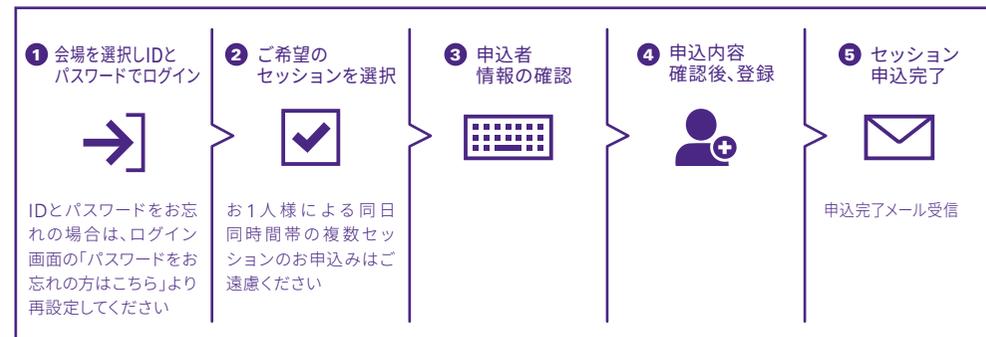
新規会員登録はこちら より入力画面へ進み、①～⑤に沿ってログインIDとパスワードを設定してください



STEP2 セッションの申込

セッションごとにお申込みいただく形式となっておりますので、ご関心のあるテーマをご自由にお選びください。

申込ページはこちら より入力画面へ進み、①～⑤に沿ってセッションの申込を行ってください



ご提供いただく個人情報は、KPMG日本のHPに掲載している個人情報保護方針(home.kpmg/jp/privacy)に基づき、①KPMGジャパンからの有益な情報の提供(サービスのご案内、メールニュースの配信、ニュースレターの配送、セミナー・イベントのご案内や参加のご確認など)、②KPMGジャパンへのお問合せに関する回答、等に利用させていただくことがございます。
なお、あずさ監査法人が秘密保持契約を締結している業務委託先に、個人情報を開示する場合がございます。

home.kpmg/jp/kpmgf-2019

© 2019 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.